

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

第2回
ニュースレター

第2回ワークショップ開催概要

「田原地域は将来どんなまちになってほしい？」
～田原地域の将来像について議論しよう！～
をテーマにアイデアを出し合いました！

田原地域の未来を導き出すことを目的としたワークショップの第2回は、「田原地域の良いところ・強み」と「田原地域の良いところ・強みを踏まえた将来像」について4班に分かれて意見を出し合い、最後に各班ごとに今回も意見を発表し、みんなでアイデアを共有しました。



日時：令和5年11月30日（木）16:30～18:30
会場：グリーンホール田原 なるなるホール
参加者：25名（中学生7名）市職員：3名 コンサル：4名



グループワーク：「田原地域の良いところ・強みを踏まえた将来像」を考える

発表・アイデアの共有

第2回ワークショップの結果概要

参加者の皆様からは、まず田原地域の良いところ・強みを考え、遊休地の使い方のアイデアを出し合い、これらを踏まえて、田原地域の将来像について、様々な視点から意見をいただきました。

将来像を整理すると、田原地域の良いところ・強みを活かした場所の使い方や目的性などに特徴がみられました。

🐾 田原地域の良いところ・強み

人の優しさ、つながりを感じる

自然が豊かである

生活環境が良い

イベントが盛ん、行動力がある

歴史・文化資源がある

🧠 将来像（案）

- 一人一人の得意なことやチャレンジしたいことを実行できる田原地域
- 地域の担い手となる若い力をサポートし、豊かな感性が育まれる田原地域
- 子どもから大人までみんなが明るく優しくて気持ちの良い、誰もが「好き！」と思える田原地域 等
- 豊かな自然と地域住民の笑顔に触れることができる田原地域
- 里山を守りながら農業を通じた地域住民との交流が盛んな田原地域
- 人とのつながりを尊重し、豊かな自然を守り、伝え、大切にしていける田原地域 等
- まちを歩けば空気がおおいしく、四季を感じながら心身共にリフレッシュできる田原地域
- 地元産の豊富な農作物を堪能できる田原地域 等
- 地域と人が支え合い、大人になっても未永く住み続けたいと思えるまち
- 全世代を通じて子育てできるアットホームな雰囲気のある田原地域
- 他地域からも人が訪れる魅力的な地域 等
- 実験的な取組など意欲的な人々が活躍できる場
- イベントを通じて多くの人とつながることができる田原地域 等
- 歴史的な地域資源を通して学びを深めることができる田原地域 等

第3回ワークショップに向けて

最終回となる第3回では、第2回ワークショップで考えた将来像を実現するために「今後すべきことは何か？」という視点で具体的な案を考えていきます。引き続き皆様と議論させていただきながらワークショップを進めていきます。

【主催・問合せ】 四條畷市 田原支所（担当：塩見、斎藤） TEL：0743-78-0175（代表）